

若者世代・子育て世代の「結婚・出産・子育て・しごと」に対する意識とニーズ

○当市では、本ビジョンの策定に当たり、若者世代や子育て世代の「結婚」「出産」「子育て」「しごと」の現状や希望、課題を把握・分析するため、「若者世代・子育て世代の市民アンケート調査」を実施しました。以下では、その結果の概要を示します。

【調査の概要】

○調査名

若者世代・子育て世代の市民アンケート調査（実施主体：上越市）

○調査目的

若者世代や子育て世代の「結婚」「出産」「子育て」「しごと」の現状や希望、課題を把握・分析し、地方創生の取組や今後の市政運営にいかしていくための基礎資料とする。

○調査対象

上越市内に在住する満 20 歳以上 40 歳未満の男女 3,000 人
（平成 27 年 6 月 5 日現在）

○調査方法

郵送配布・郵送回収

○回答期間

平成 27 年 6 月 15 日（月）～7 月 6 日（月）

○回収数

993（回収率 33.1%）

<調査結果の概要>

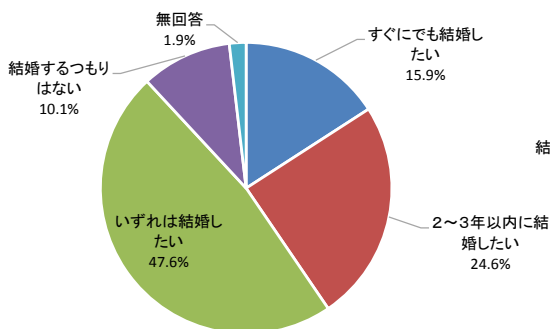
1 結婚について

(1)結婚に対する意向(対象:未婚者)

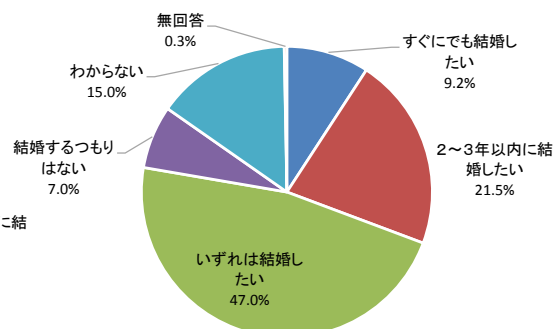
○「すぐにでも結婚したい」、「2～3年以内に結婚したい」、「いずれは結婚したい」を合わせた、結婚の意欲を持っている人の割合は 88.1%で、全国的な調査結果の 77.7%を上回っています。

○「すぐにでも結婚したい」と考えている人の割合は、全国よりも多くなっています。

【図表 資-12 結婚に対する意向（上越市）】



【図表 資-13 結婚に対する意向（全国）】

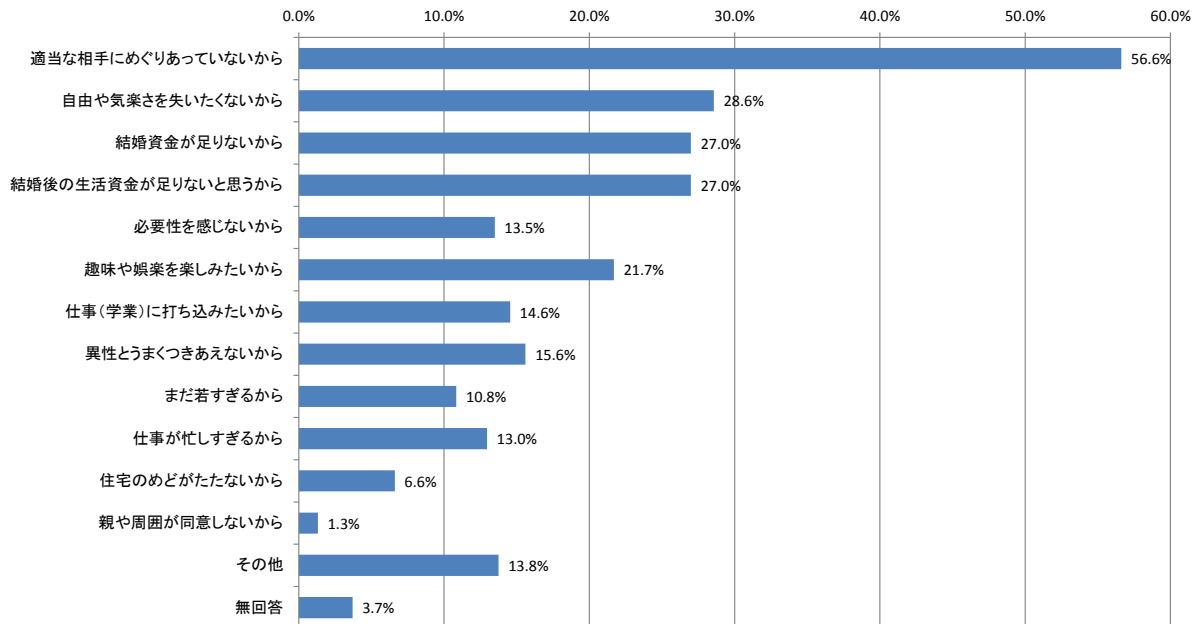


※全国は、「平成 26 年度結婚・家族形成に関する調査」（内閣府）によるデータ

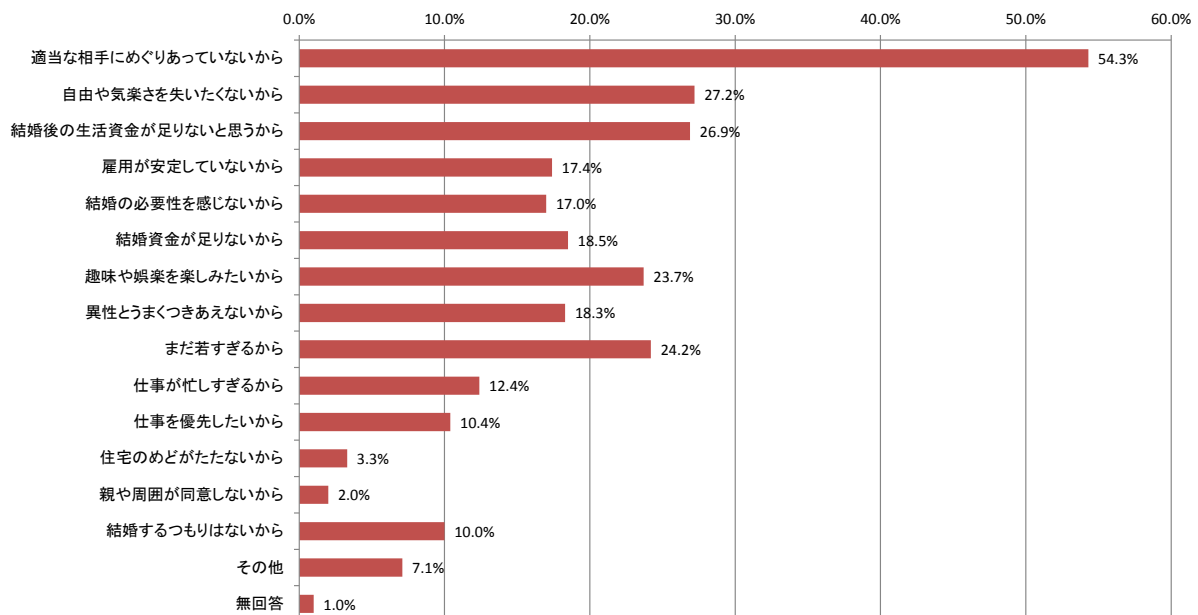
(2)現在結婚していない理由(対象:未婚者)

○全国的な傾向と同様に、「適当な相手にめぐりあっていないから」が突出して多く、次いで「自由や気楽さを失いたくないから」、「結婚後の生活資金が足りないと思うから」が多くなっています。

【図表 資-14 結婚していない理由（上越市）】



【図表 資-15 結婚していない理由（全国）】

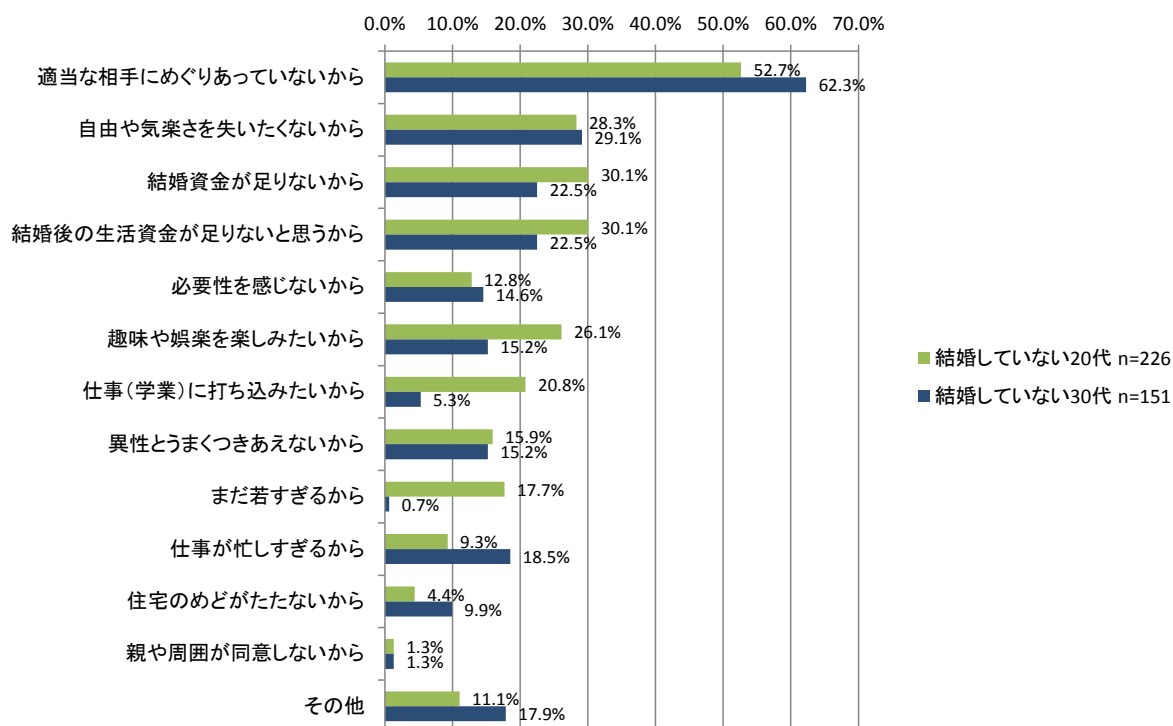


※全国・内閣府は「平成 26 年度結婚・家族形成に関する調査」によるデータ

【参考:結婚していない理由の年代別比較】

○「まだ若すぎるから」、「仕事(学業)に打ち込みたいから」、「趣味や娯楽を楽しみたいから」は、20代が30代よりも特に多く、「適当な相手にめぐりあっていないから」と「仕事が忙しすぎるから」は、30代が20代よりも特に多くなっています。

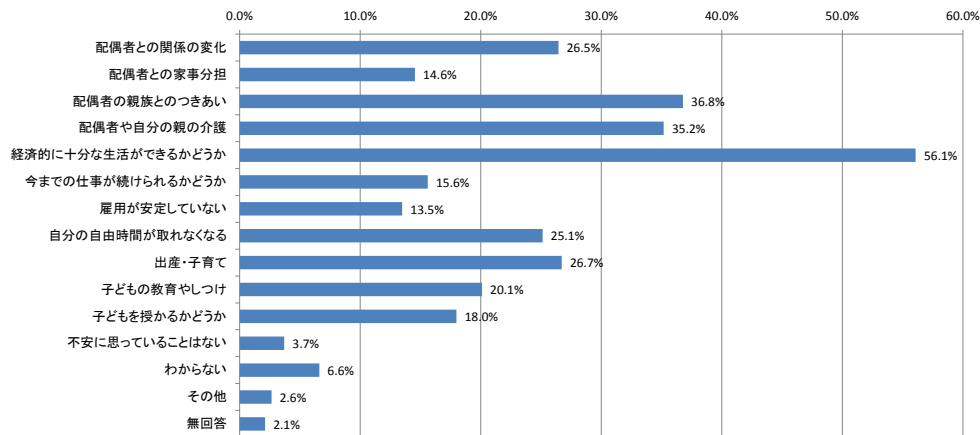
【図表 資-16 年代別にみた結婚していない理由(上越市)】



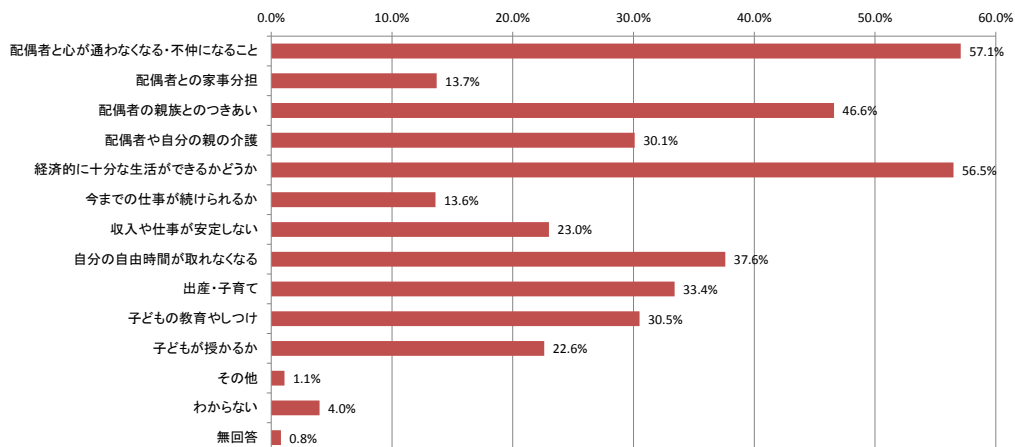
(3) 将来結婚生活を送るとした場合に不安に思うこと

○「経済的に十分な生活ができるかどうか」が特に多く、次いで「配偶者の親族とのつきあい」、「配偶者や自分の親の介護」が多くなっています。全国的な調査結果と比較すると、当市では、「配偶者の親族とのつきあい」、「自分の自由時間がとれなくなる」、「出産・子育て」が特に少なくなっています。

【図表 資-17 将来結婚生活を送るとした場合に不安に思うこと（上越市）】



【図表 資-18 将来結婚生活を送るとした場合に不安に思うこと（全国）】

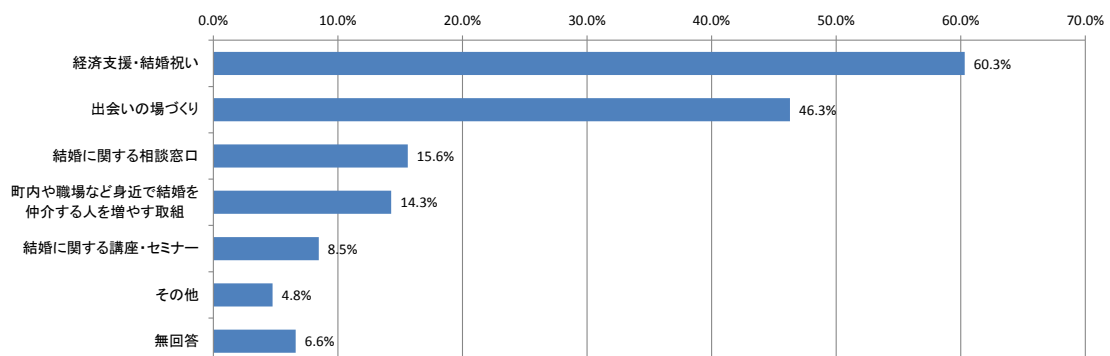


※全国は、「平成 26 年度結婚・家族形成に関する調査」（内閣府）によるデータ

(4) 行政や民間団体に求める結婚支援の取組

○「経済支援・結婚祝い」と「出会いの場づくり」が特に多くなっています。

【図表 資-19 行政や民間団体に求める結婚支援の取組（上越市）】



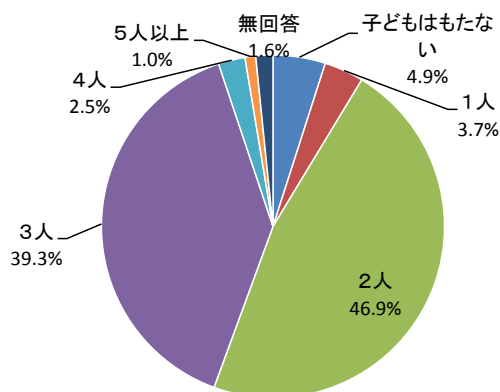
2 出産・子育てについて

(1)理想とする子どもの数と実際の予定

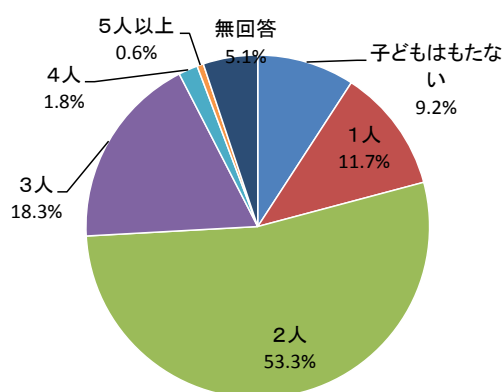
○理想とする子どもの数の平均は 2.34 人で、実際に予定している子どもの数の平均は、1.93 人となっています。

※本調査では、「5人以上」の回答は「5人」として計算

【図表 資-20 理想とする子どもの数（上越市）】



【図表 資-21 実際に予定している子どもの数（上越市）】



【参考：各種調査から計算した理想の子ども数】

調査	総計	男		女		備考
		未婚	既婚	未婚	既婚	
上越市 (若者世代・子育て世代の市民アンケート)	2.34	2.02	2.51	2.04	2.55	・「5人以上」の回答は「5人」として計算
国立社会保障・人口問題研究所 (第14回出生動向基本調査)	-	2.04	2.42	2.12	2.42	・未婚の男女の値は35歳未満を対象 ・既婚の男女の値は50歳未満の夫婦を対象としており、男女で同一の値
内閣府(希望の子ども数) (平成26年度結婚・家族形成に関する調査)	2.2	1.9	2.4	2.0	2.3	・「5人以上」の回答は「5人」として計算

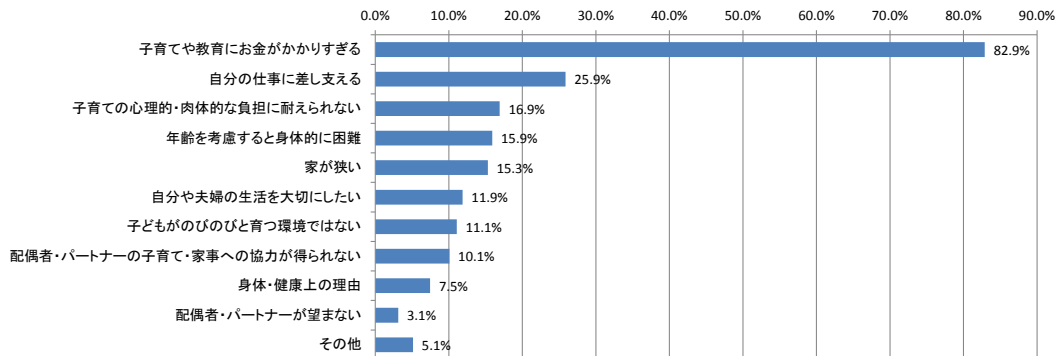
【参考：各種調査から計算した実際に予定している子ども数】

調査	全体	既婚
上越市 (若者世代・子育て世代の市民アンケート)	1.93	2.14
国立社会保障・人口問題研究所 (第14回出生動向基本調査)	-	2.07

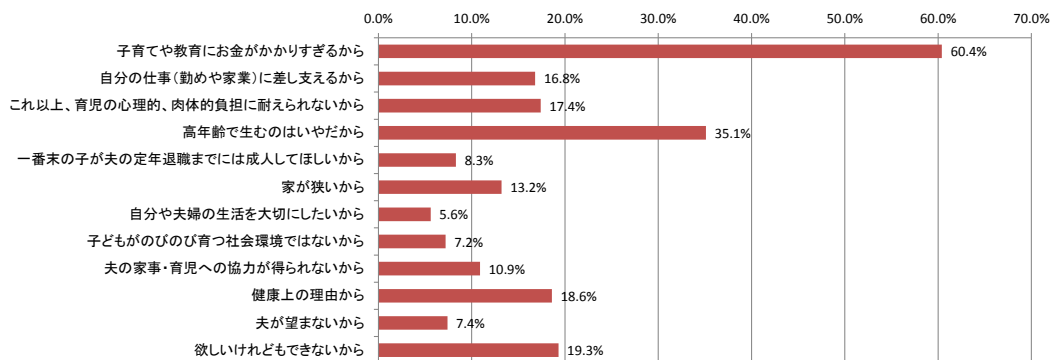
(2)理想とする数の子どもを持つ上で障害になると感じていること(複数回答)

○「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が突出して多く、男女別にみると、女性は、「自分の仕事に差し支える」、「子育ての心理的・肉体的な負担にたえられない」が男性よりも特に多くなっています。

【図表 資-22 理想とする数の子どもを持つ上での障害 (上越市)】



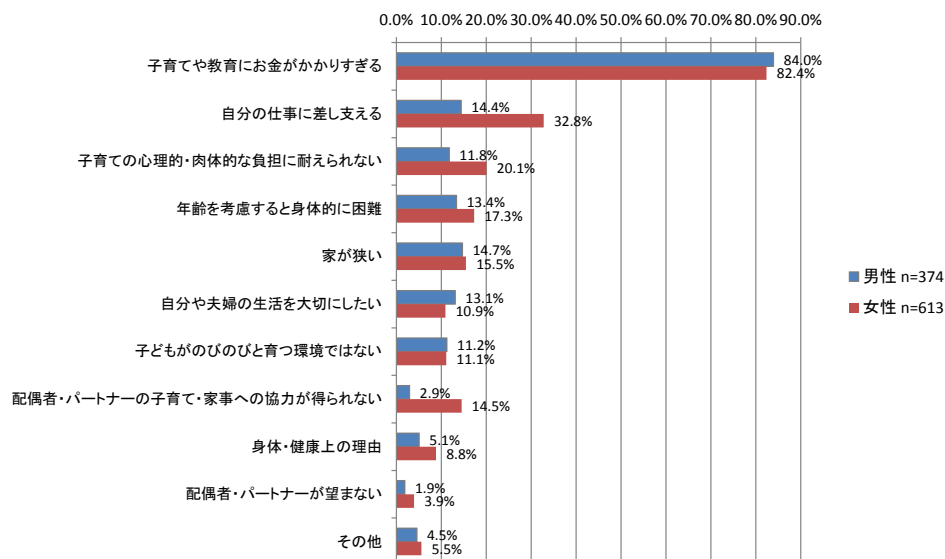
【図表 資-23 理想とする数の子どもを持つ上での障害 (全国)】



※【全国】は、「第14回出生動向基本調査」(国立社会保障・人口問題研究所)によるデータ

【参考:男女別のクロス集計】

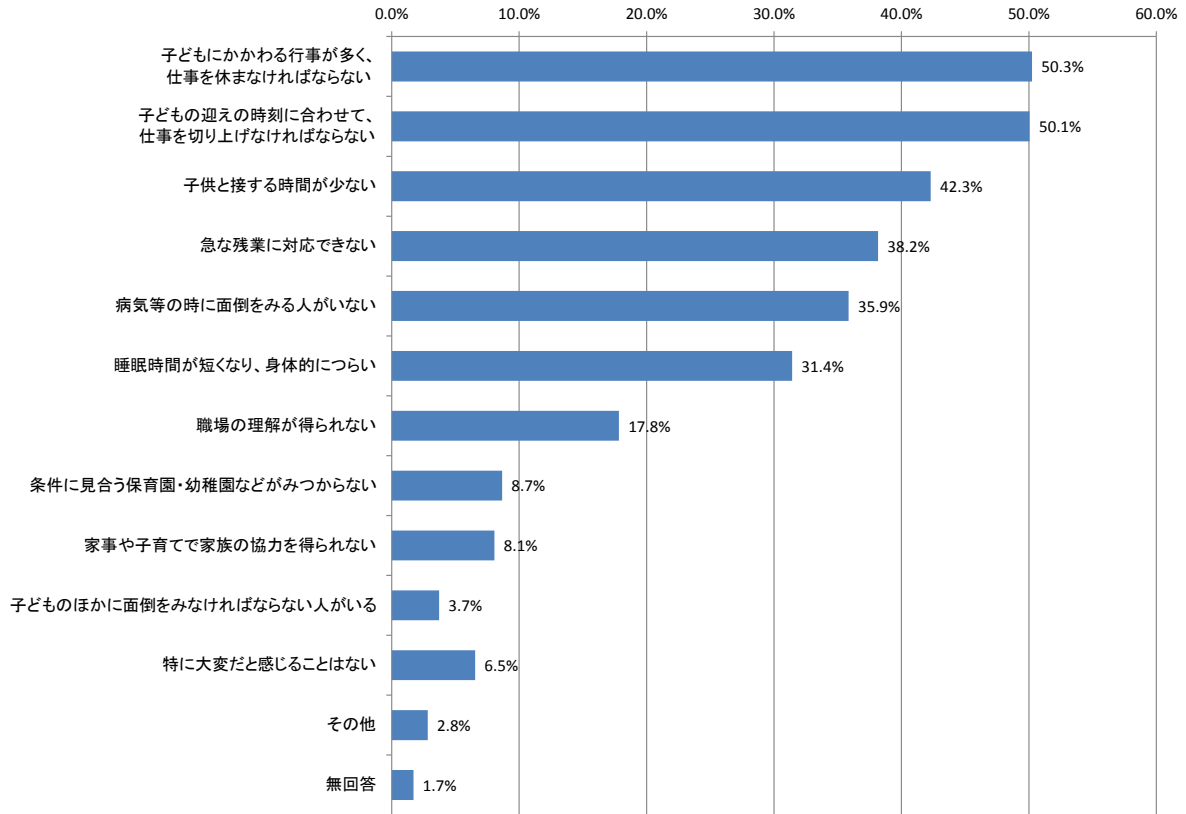
【図表 資-24 理想とする数の子どもを持つ上での障害の男女別比較 (上越市)】



(3)仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること

○「子どもにかかわる行事が多く、仕事を休まなければならない」、「子どもの迎えの時刻に合わせて、仕事を切り上げなければならない」が多くなっています。

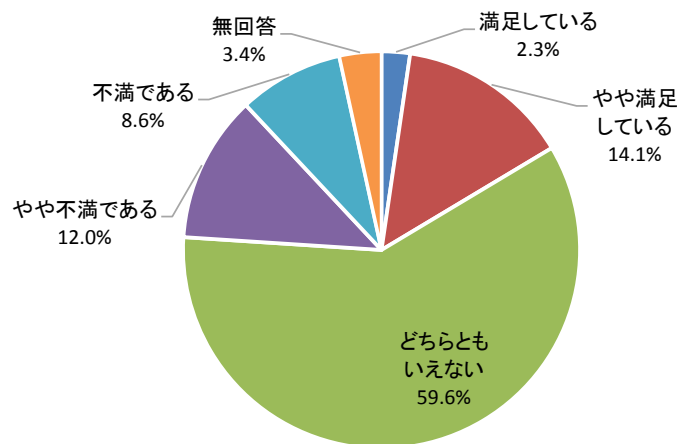
【図表 資-25 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること（上越市）】



(4)上越市が行っている子育て支援の取組に対する満足度(子どもがいる人の回答)

○「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合は 16.4%、「やや不満である」と「不満である」を合わせた割合は 20.5%となっています。

【図表 資-26 上越市が行っている子育て支援の取組に対する満足度（上越市）】

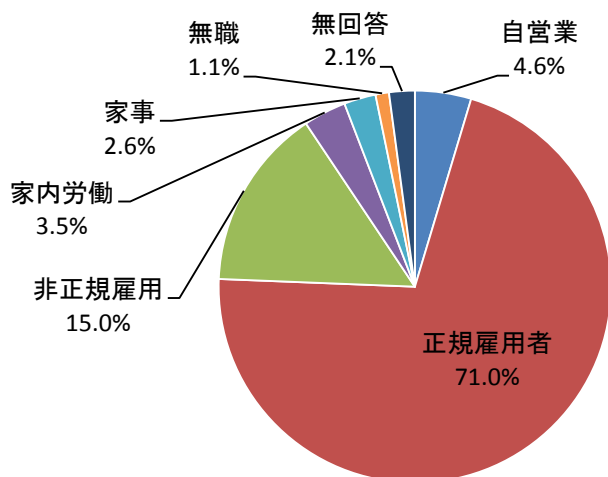


3 しごとについて

(1)希望する就労の形態

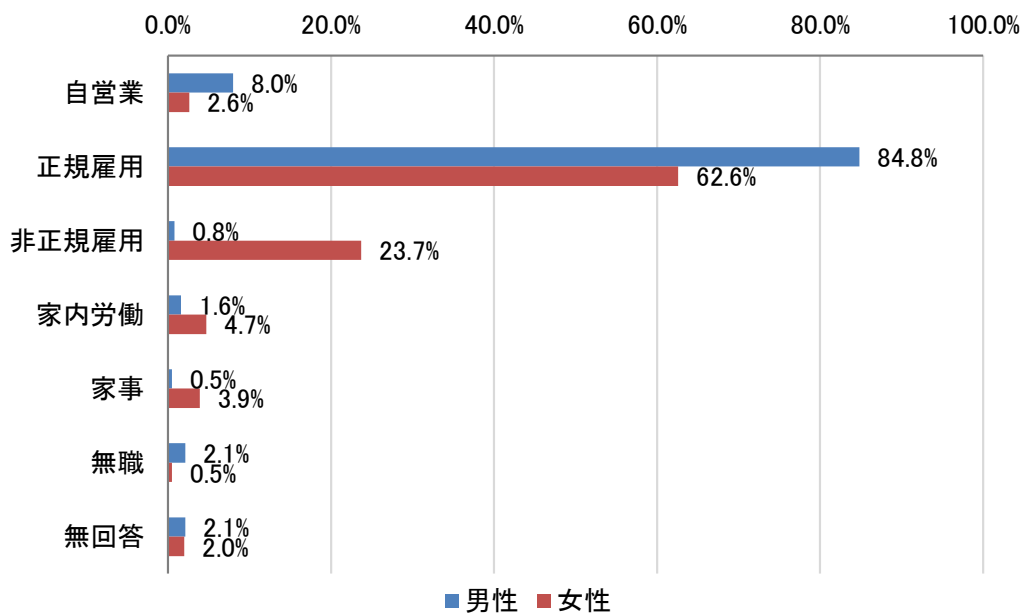
○「正規雇用者」の希望が最も多い一方で、それに次ぐ形態は、男性では「自営業」が、女性では「非正規雇用」が多くなっており、傾向に違いがみられます。

【図表 資-27 希望する就労の形態（上越市）】



【参考:男女別のクロス集計】

【図表 資-28 希望する就労の形態の男女別比較（上越市）】

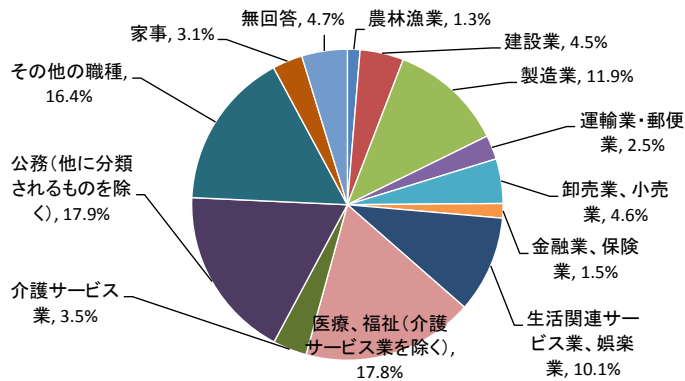


(2)希望する職種

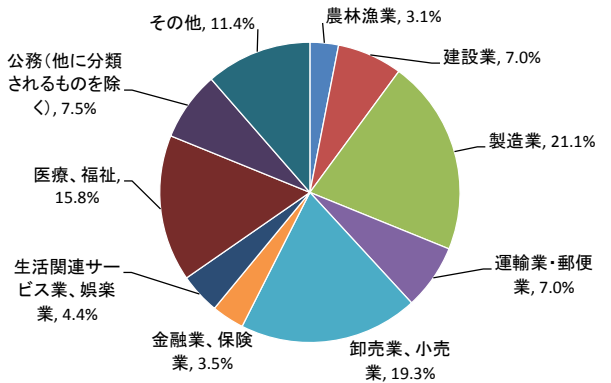
○「公務（ほかに分類されるものを除く）」と「医療、福祉（介護サービス業を除く）」が多くなっています。

○男女別にみると男性では、「公務（ほかに分類されるものを除く）」や「製造業」が多く、女性では、「医療、福祉（介護サービス業を除く）」が多くなっています。

【図表 資-29 希望する職種（上越市）】



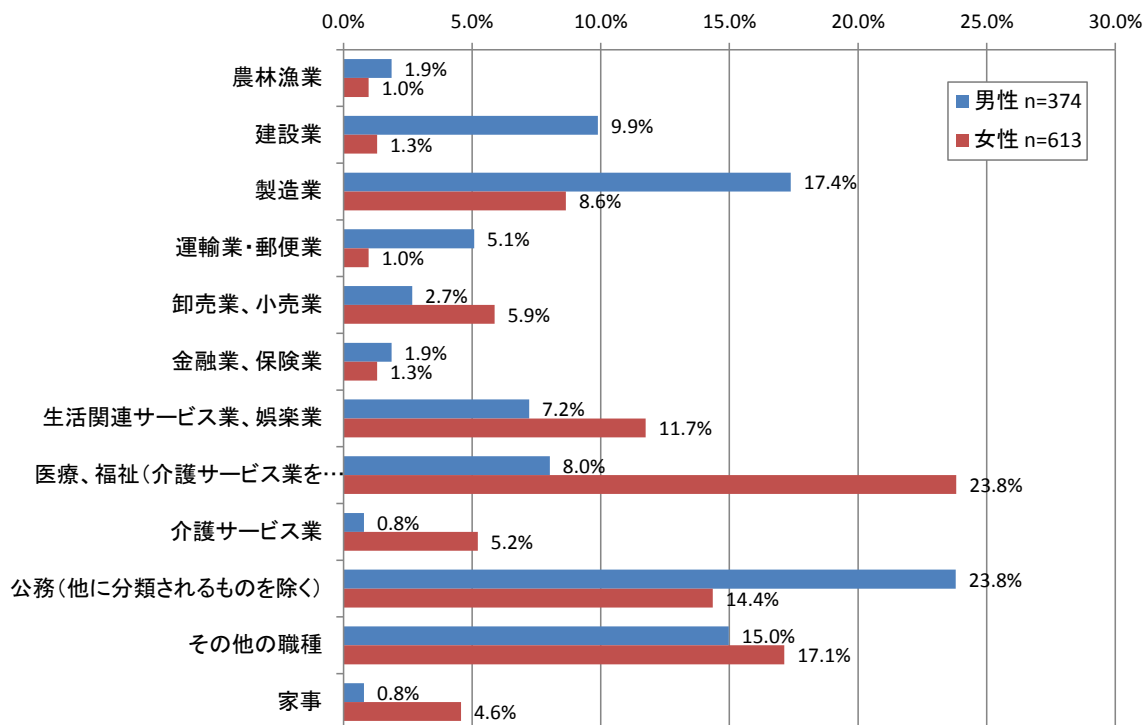
【図表 資-30 参考：平成24年10月1日現在の職種別有業者数（上越地域）】



※図表資-30は就業構造基本調査によるデータ（妙高市、糸魚川市を含む）

【参考：男女別クロス集計】

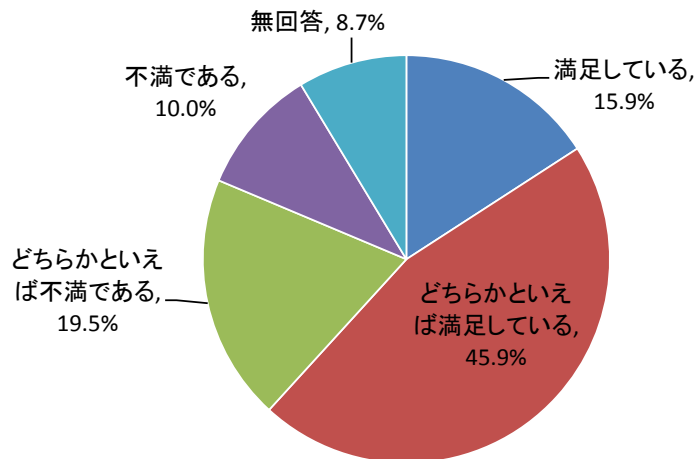
【図表 資-31 性別と希望する職種の男女別比較（上越市）】



(3)現在の「しごと」に対する満足度

○「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた約6割の人が満足しており、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた約3割の人が不満を感じています。

【図表 資-32 現在の「しごと」に対する満足度（上越市）】

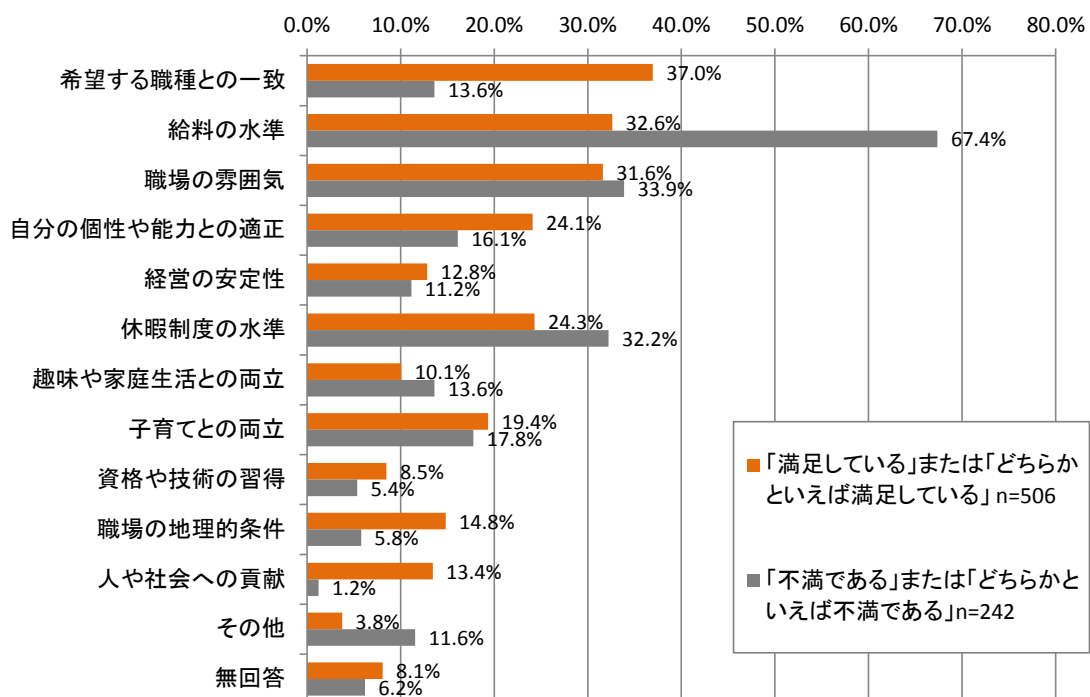


(4)現在の「しごと」に対する満足度の理由

○「満足している」または「どちらかといえば満足している」と回答した人は、「希望する職種との一致」、「給料の水準」、「職場の雰囲気」が多くなっています。

○一方、「不満である」または「どちらかといえば不満である」と回答した人は、「給料の水準」が特に多く、次いで「職場の雰囲気」、「休暇制度の水準」が多くなっています。

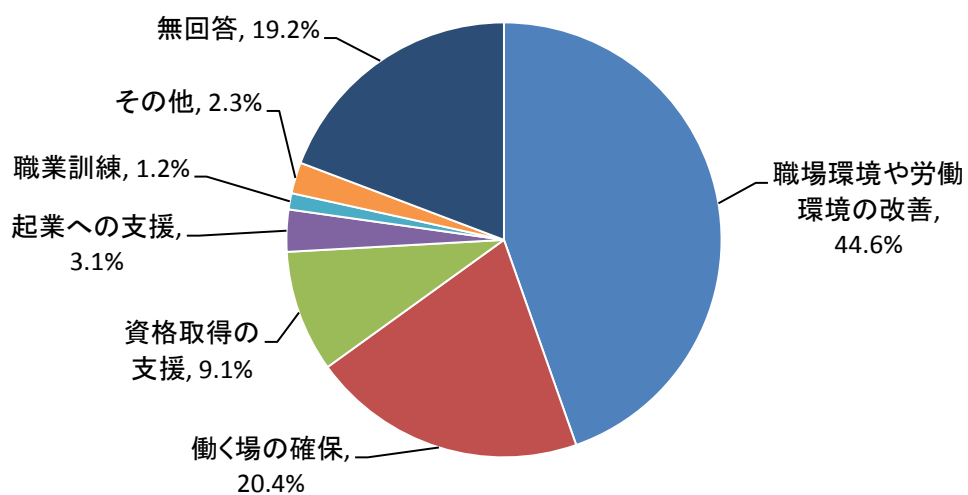
【図表 資-33 現在の「しごと」に対する満足度の理由（上越市）】



(5)行政や民間団体に望む「しごと」に関する取組

○「職場環境や労働環境の改善」が特に多くなっています。

【図表 資-34 行政や民間団体に望む「しごと」に関する取組（上越市）】



4 自由記述

※自由記述では、様々なご意見を寄せられたため、それらのご意見を要素ごとに分類したものを分野別に分類した結果を示します。

(1)上越市の暮らしの中で、特に気に入っていること

○自然や山、海などの「環境」について評価している意見が最も多くなっています。

【項目別集計（各意見を要素ごとに分類したもの）】

属性		防災・防犯	環境	健康・福祉	農林水産	産業・経済	教育・文化	都市基盤	行財政	住民参画	その他
年齢	20～24歳	2	26	6	1	23	6	16	0	0	5
	25～29歳	2	46	6	5	27	7	25	0	0	16
	30～34歳	7	58	20	7	38	14	32	0	0	21
	35～39歳	7	72	18	9	38	14	34	0	0	17
上越市とのかわり	市内出身でずっと上越	6	56	10	7	34	8	26	0	0	11
	市内出身で転出したが戻っている	6	95	16	7	56	13	48	0	0	26
	市外出身	6	45	25	7	33	19	28	0	0	21
	その他	0	6	0	0	3	0	5	0	0	0
結婚	結婚している	15	121	41	13	77	24	68	0	0	19
	結婚していない	3	81	10	9	49	17	39	0	0	17
全体		18	203	51	22	126	41	108	0	0	59

(2)若者・子育て世代にとって、上越市が住み良く、魅力的なまちになるために、今後、特に必要なこと

○「健康・福祉」に関する意見が最も多く、その中でも、子どもが思い切り遊べる施設の整備や、保育サービスのさらなる充実など、子育て支援に関する意見が多くなっています。

【項目別集計（各意見を要素ごとに分類したもの）】

属性		防災・防犯	環境	健康・福祉	農林水産	産業・経済	教育・文化	都市基盤	行財政	住民参画	その他
年齢	20～24歳	1	2	26	0	37	4	17	1	1	7
	25～29歳	4	3	73	1	43	7	31	12	0	11
	30～34歳	4	4	123	2	63	14	49	10	1	15
	35～39歳	4	5	121	2	74	23	53	19	2	19
上越市とのかわり	市内出身でずっと上越	4	6	108	0	59	10	30	16	1	12
	市内出身で転出したが戻っている	3	4	128	4	94	20	63	13	0	26
	市外出身	5	3	100	1	53	15	53	13	3	13
	その他	1	1	8	0	10	3	4	0	0	1
結婚	結婚している	8	8	269	4	125	31	93	28	3	28
	結婚していない	5	5	75	1	92	17	57	14	1	24
全体		13	14	345	5	217	48	150	42	4	52